

つくも神

伊藤遊作 ポプラ社

マンションのゴミ置き場でボヤがあった次の日から、ほのかは、奇妙なものをみるようになりました。真っ暗な工レバーターの中で出会った「ネツケ」は、ほのかを知っているようなのです。小さいころによく遊んでいた、隣のおばあさんの家の土蔵に秘密があると思ったほのかは、会いに行くことにします。

かわいらしくて、ちょっとこわい、古道具に魂が宿った「つくも神」たちがまきおこす事件を通して、ほのかや、ほのかのお兄ちゃんたちの大切な思い出がよみがえる物語。

